

第1学舎の風景

第1学舎の記憶

ドームが蕭洒な大学本館

八角形の塔部分が印象的な建物。1954(昭和29)年に解体される際には塔部分の部材を用いて記念館を作る計画が立てられたほど親しまれました。現在の以文館は八角形の塔部分のデザインを引き継いでいます。



グラウンドとスタンド、そして図書館

1926(大正15)年に竣工した400メートルトラックを有するグラウンド。階段状の観覧席とその北側の高台に1928(昭和3)年に建てられた図書館、1955(昭和30)年に増築された円形の閲覧室。グラウンドや図書館を望むこの風景は、長く関西大学のシンボルでした。



学生が集うあすかの庭

半世紀にわたって使用された村野藤吾設計の1号館を建て替える際に北側へ大きく移動させ、1号館の前に人工芝を敷いた広場「あすかの庭」がつけられました(2008年)。広場にはベンチやガーデンパラソルなどが設置され、学生たちの憩いの場になっています。



実はすごい建築家の作品がある。

第1学舎の移り変わり

大学昇格を目指して、関西大学は1922(大正11)年に千里山キャンパスを開設しました。現在の第1学舎エリアに予科校舎〔1922年竣工〕、クラブハウス〔1926年〕、大学本館〔1927年〕、図書館(現 簡文館)〔1928年〕が建ち並んでいきました。

1948(昭和23)年に新制大学へ移行すると、教育施設の充実が図られ、第1学舎エリアに大学院学舎〔1949年〕、1号館〔1955年〕、図書館増築〔1955年〕、2号館〔1967年〕、3号館〔1967年〕、岩崎記念館〔1974年〕などが相次いで建てられました。いずれも当時日本を代表する建築家 村野藤吾の設計によるものでした。

その後、4号館〔1992年〕、5号館〔2007年〕が建てられ、2008(平成20)年に今の1号館に建て替えられ、あわせてあすかの庭が作られて、現在の第1学舎風景となりました。

1932(昭和7)年

威徳館が竣工



威徳館

1952(昭和27)年

大学ホール、研究室が竣工



大学ホール、研究室

1967(昭和42)年

大中教室棟(現 2号館)、語学棟(現 3号館)、
法学部 文学部研究室新館(現 2号棟)が竣工



大中教室棟(2号館)



語学棟(3号館)

2007(平成19)年

5号館が竣工



5号館

2003(平成15)年

以文館が竣工

2000(平成12)年

尚文館が竣工



尚文館

1974(昭和49)年

岩崎記念館が竣工



岩崎記念館

2001(平成13)年

児島惟謙館が竣工

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

>>>

1928(昭和3)年

図書館(現 簡文館)が竣工

1949(昭和24)年

大学院学舎が竣工



大学院学舎

1959(昭和34)年

法学部 文学部研究室(現 1号棟)が竣工



法学部 文学部研究室

1991(平成3)年

法・文研究室3号棟が竣工

1992(平成4)年

4号館が竣工



4号館

2006(平成18)年

以文館新館、簡文館増築棟が竣工



以文館新館



簡文館増築棟

1922(大正11)年

予科校舎が竣工



左からクラブハウス、予科校舎、大学本館、図書館。手前はグラウンド

1955(昭和30)年

1号館、図書館増築が竣工



1号館



図書館増築

2008(平成20)年

1号館、あすかの庭、高松塚古墳壁画再現展示室、総合研究室棟が竣工



1号館



あすかの庭



高松塚古墳壁画再現展示室